

岳南建設グループのI-T子会社、ジーサウスシステムズ（福岡市博多区、猿渡豊繁社長）は、セキニリティー機能を強化したアプリケーションスービース「ネットストレージ・for・JV」の新バージョン提供を開始した。同サービスは建設工事における管理部門と現場事務所の情報共有化を、低コストで容易に実現できる。新バージョンが個人情報保護対策、情報漏えい対策に寄与することを強みとして、同社は電力会社や工事会社を中心に年間50社との契約を目指す。

情報共有 管理もバッチリ

「ネットストレージ・for・JV」は、インターネット経由でソフトウェアを貸し出すアプリケーションスービス。03年に提供を開始し、これまでに電力会社、建設会社、コンサルタント会社など十数社で採用されている。

通常のインターネット環境があれば、新たにハードウェアやソフトウェアを導入することなく、工事管理部門と現場事務所間で情報を共有できウエアを貸し出すアプリケーションスービス。03年に提供を開始し、これまでに電力会社、建設会社、コンサルタント会社など十数社で採用されている。

導入・運用コストが安い。導入時の初期設定から運用・保守管理まで一括して同社が行うため、システム管理者は不要だ。

新バージョンは、ファ

岳南建設 | 子会社

イルの改ざん・情報漏えいを防止するため、特定ファイルのロック機能（ファイルのダウンロード・更新・プレビュー・コピー・移動の禁止）をした。

付加。共同企業体（JV）や数社で情報を共有する場合の情報漏えいの抑止を追い、ユーザー費用が1万円、ランニング

の全オペレーションログの記録・管理機能を加えた。同社は、岳南建設の情報システム事業部門を03年4月に分社化して設立。インターネット経由でソフトウェアを貸し出すなどのASP（アプリケーションスービス・プロバイダー）事業を展開している。今後、大きく伸びる

低価格の新サービス投入

設備工事・保安